

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	保育士修学資金貸付事業			会計	款	項	目	大	小
				01	03	02	01	08	55
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保育課				
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	浅水 透				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	保育士養成施設に在学し、市内私立保育所に保育士として就労希望の者	意図	市内の私立保育所における人材の確保。
事業内容	保育士修学資金貸付金として、毎月3万円（年間36万円）を無利息にて最大2年間、貸付し、応募は一般及び市が指定した学校からとした。			
事業開始から現在までの状況変化	待機児童解消のため、保育所整備を急務とする一方、保育士不足が懸念されており、平成26年度から2年間として実施。貸付決定者は平成26年度は11人、平成27年度は9人。この成果を受け、4年間延長することとした。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	貸付決定者	9	7	2	人	↑↑↑	
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 制度を利用した平成29年度末卒業生のうち2名が市内の私立保育所へ就労が決定したことから保育士の確保に繋がった。貸付決定者が減少した理由は、千葉県が新たに保育士修学資金貸付制度を開始したことが影響していることも考えられる。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,114,600	4,236,250	958,000				
事業費(b)(円)		3,240,000	2,520,000	720,000				
うち一般財源		3,240,000	2,520,000	720,000				
職員給与費(c)(円)		3,874,600	1,716,250	238,000				
人役・職員(人)		0.50	0.25					
人役・再任用(人)				0.10				
人役・臨職(人)		0.10						
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	市内の私立保育所への就労に結びつけるために、本制度の利用者を増やす方策をする。	③取組の課題	本制度の利用者を増やし、保育士確保に繋げるためには、更なるPRの必要がある。
②今年度(H29)に実施した取組	協定校に学生に制度の更なるPRを依頼、市ホームページのトピックスに掲載し、周知を図った。	④今後(H30以降)の改善計画	保育士確保に繋がる他事業も含めPRし、制度の利用者増加に努める。